

移動通信事業

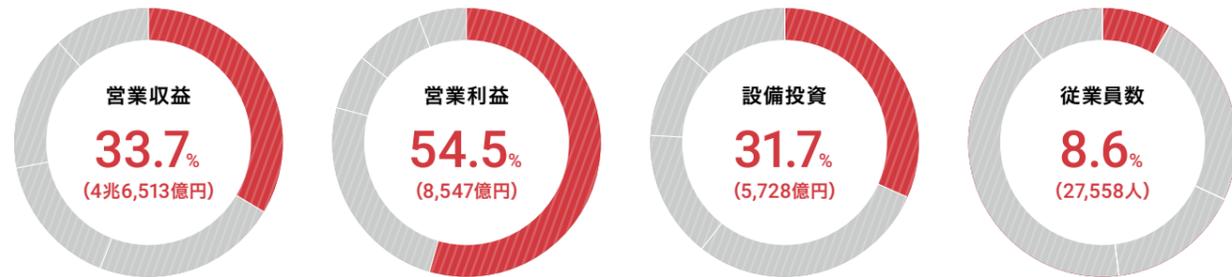
移動通信事業では、シンプルでおトクな新料金プラン「ギガホ」「ギガライト」や「ドコモ光」の販売を推進したほか、5Gサービスの提供開始、スマートライフ領域における様々な事業者とのコラボレーション推進など、新たな付加価値の提供に取り組まれました。

競争優位性

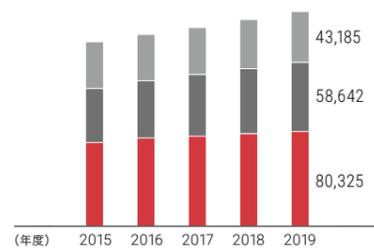
- ▶ いつでも、どこでも、快適に利用できる安定した通信ネットワーク
- ▶ 高い研究開発力
- ▶ 高い市場シェアと安定した顧客基盤



2019年度セグメント別構成比

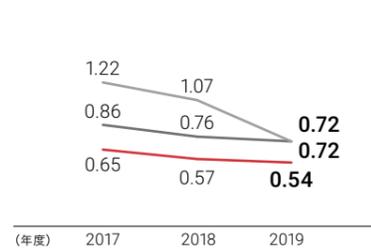


携帯電話事業者別契約者数 (千契約)



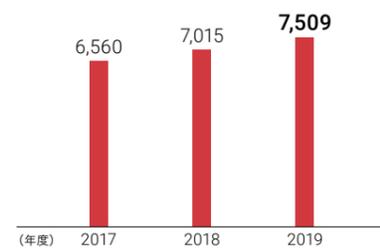
※ (社)電気通信事業者協会の発表数値をもとに当社作成。KDDIには、UQ mobile契約数を含む。SoftBankには、Y!mobile契約数 (PHS除く)を含む。

解約率 (%)



※ 各社決算発表資料をもとに当社作成。

dポイントクラブ会員数 (万契約)



TOPICS

- ▶ ドコモショップにおけるお客さまの待ち時間短縮のためにWeb・電話予約の導入や、予約の受付可能数の拡大に取り組まれました。また、2019年12月より、ドコモショップ店頭で端末をご購入いただき、初期設定・データ移行を希望されるお客さまに対して無料で手続きをご案内するようにサポート内容を統一しました。
- ▶ 国内の医師の約9割を会員に持つ国内最大の医療IT企業であるエムスリー株式会社と資本・業務提携契約を締結し、企業の健康経営をサポートする株式会社empehalを設立しました。
- ▶ 5Gの技術や仕様に関する情報や、5Gの技術検証環境の無償提供などを通して、パートナー企業と新たなソリューション協創の取り組みとして実施している「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」の参加パートナー数は、2020年3月末に3,400となりました。

FOCUS

「dポイント」を中心にさまざまな分野での協業の推進

NTTドコモ(以下、ドコモ)は、株式会社リクルート(以下、リクルート)と業務提携し、「dポイント」を中心に、リクルートが提供するサービスをご利用のお客さまと、dポイントクラブ会員の皆さまの利便性とサービスの向上をめざし、エコシステムの拡大に取り組んでいます。

(1)リクルートグループが提供するWebサービスと「dポイント」の連携

リクルートグループのWebサービスにおける共通ID「リクルートID」とドコモの「dアカウント」を連携し、Webサービスのご利用で「dポイント」をためる・使うことができるようになります。

今後、dポイント加盟店の販促支援やマーケティング協業も検討し、dポイントクラブ会員基盤の拡大にも取り組んでいきます。

(2)Airビジネスツールズにおける連携強化

リクルートが提供する決済サービス「Airペイ」が、「d払い」による決済対応に加え、2020年4月から「dポイント」の取り扱いを開始し、「Airペイ」導入店舗で「dポイント」をためる・使うことができるようになりました。

※ リクルートの各種サービスにおける「dポイント」のご利用には、dポイントの利用者情報登録が必要です。

医療機関・患者向けのICT・IoT活用における協業検討の開始

～第1弾として入院患者のバーチャル外出支援のトライアルを開始～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの医療機関では患者との面会制限が実施され、現場においても従事者と患者との接触回数を低減しながら必要な医療の提供を行う必要があり、ICTやIoTを活用した遠隔技術の導入がより一層求められています。このような状況を受け、NTTドコモとエムスリー株式会社、ソニー株式会社は共同で、医療領域における課題に対して、ICTやIoTを活用した協業に向けて検討することとなりました。

第一弾として、VR・AR等を活用した入院患者のバーチャル外出・面会支援のトライアルから開始しました。具体的に、病室でVRゴーグルをかけると、周囲360度の旅行映像が浮かび上がり、実際に外出しているようなリアルな体験を味わえるプログラムや、感染防止の観点から直接家族と会うことができない入院患者向けのバーチャル面会システムの検討を行います。

なお、今後は、患者のQOL向上に加え、治療やリハビリへの活用、遠隔問診や遠隔での患者家族向けの治療説明等、医師と患者の対話への活用も視野に、幅広い課題解決に取り組んでいきます。



VR・ARなどを活用したバーチャル外出(イメージ)

地域通信事業

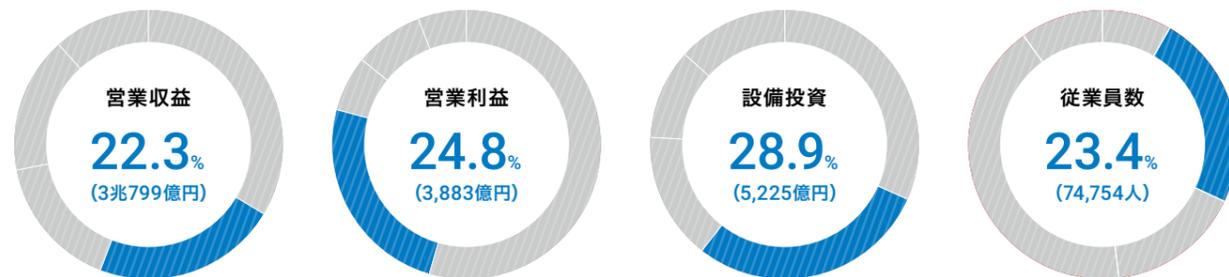
地域通信事業では、光アクセスサービスなどを様々な事業者に卸提供する「光コラボレーションモデル」や、地域社会・経済の活性化に向けたソリューションビジネスの強化を図りました。

競争優位性

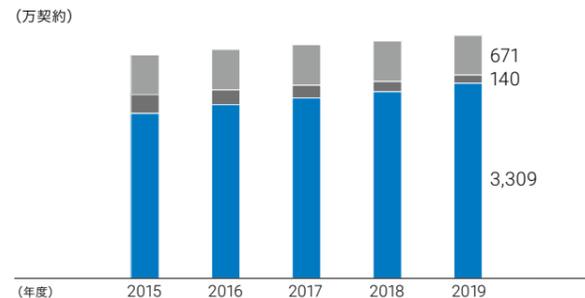
- ▶ セキュアで信頼性の高い安定した通信ネットワーク
- ▶ 地域に根ざしたICTソリューションの提供及びサポート
- ▶ 高い市場シェアと安定した顧客基盤



2019年度セグメント別構成比

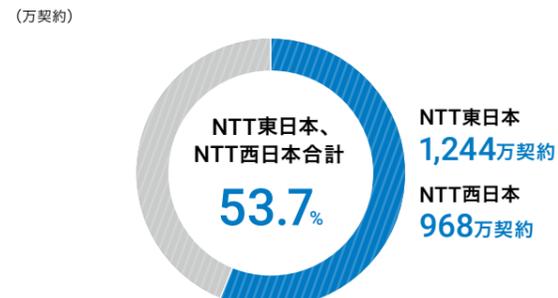


固定ブロードバンドサービスの契約数



■ FTTH ■ DSL ■ CATV
※ 総務省公表資料より当社作成

固定ブロードバンドサービス契約数シェア



※ 総務省公表資料より当社作成。卸電気通信役務の提供に係るものも含む。

TOPICS

- ▶ IoT/AIを活用し、農業を起点とした街づくりを推進するため、NTTグループ初の農業xICT専門会社である株式会社NTTアグリテクノロジーを設立しました。また、地域社会と経済活性化への貢献などを推進するため、スカパーJSAT株式会社、株式会社タイトーとの共同出資により株式会社NTTe-Sportsを設立しました。
- ▶ NTT東日本・NTT西日本は、全国の多くの地方自治体などと連携し、ICTを活用した街づくりなどに向けた様々な取り組みを推進しました。NTT西日本においては、大学・地域自治体向けの共同利用型クラウドである「地域創生クラウド」サービスを京都エリアから順次提供開始しました。
- ▶ 地域の文化芸術資源の保存・伝承という社会的課題や、文化芸術を通じた地域の魅力発信・活性化といったお客さまの期待に対し、地域文化芸術に関するデジタルデータの集積や、先進技術を用いた発信により、地域の文化芸術伝承を通じた地域創生の取り組みを推進しました。また、取り組みのコンセプトを発信する場として、体験型美術展「Digitalx北斎【序章】」を開催しました。

FOCUS

eスポーツによる新しい文化・社会の創造をめざす施設「eXeField Akiba」の開業と、総合コミュニケーションプラットフォーム「eXeLAB」の提供について

株式会社NTTe-Sportsは、eスポーツを通じたコミュニティの推進、地域社会と経済活性化への貢献のミッションを実現する柱の一つ、各事業を有機的に連携させる“コア”として、秋葉原UDX内にeスポーツ施設「eXeField Akiba(エグゼフィールド アキバ)」を2020年8月に開業しました。本施設は各地のオンラインイベントの映像配信スタジオとしてご利用いただける最新設備を備え、人と人、地域と地域をつなげる場を提供することで、eスポーツの文化の定着とコミュニティの形成、eスポーツ関連技術の発展をめざします。

併せて、同年8月より、ゲーマー向け総合コミュニケーションプラットフォーム「eXeLAB(エグゼラボ)」を提供開始しました。昨今のゲーム市場の拡大には、各地の大会やチーム、ファン同士の交流といった、プレイヤー同士のコミュニケーションが大きく寄与している一方、地域等によって得られる情報量に格差があり、各プレイヤーの取り組みの濃淡に大きく影響しています。またイベント主催者にとっては、調整等の手間が継続への障壁となっています。こうした背景を踏まえ、本プラットフォームでは、ゲーマー同士のコミュニケーションの場を提供する他、大会やチーム管理の各種ツールを具備し、ゲームを通じたさまざまな活動の拡張・加速および効率化をめざすとともに、eスポーツの発展を支援し、ニューノーマル時代の新たな「つながり」の創出に貢献します。



持続可能な次世代型畜産・酪農業の実現と地域循環型エコシステムの構築をめざし、新会社を設立

NTT東日本は、バイオマスリサーチ株式会社(以下、バイオマスリサーチ)と共同出資を行い、持続可能な畜産・酪農業の実現と地域活性化をめざし、「株式会社ビオストック」を2020年7月に設立しました。

国内の畜産・酪農業に携わる農家数は減少する一方で、1農家あたりの飼育頭数は増加しており、「バイオガスプラントの導入により、糞尿処理の稼働や悪臭がなくなると聞かすが、導入コストが高く、自己資金・借入では対応が難しい」という声が畜産・酪農家から多くあげられています。

こうした背景を踏まえ、バイオマスリサーチのバイオガスプラント導入ノウハウとNTT東日本のICTの技術力等を組み合わせ、導入のハードルが高かったバイオガスプラントを利用しやすい「初期コスト不要、月額利用型モデル」にて提供します。また、糞尿処理以外の営農業務でも、遠隔で人手を介さない姿を実現すべく、IoT/AIを活用した高度な環境制御や、環境・飼育データの分析に最適な飼育管理システム等を多彩なパートナーとの連携を通じて提供していきます。

今後は、NTTグループのアセットとバイオマスリサーチのノウハウをベースに連携を通じて、畜産・酪農分野のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進していきます。

長距離・国際通信事業

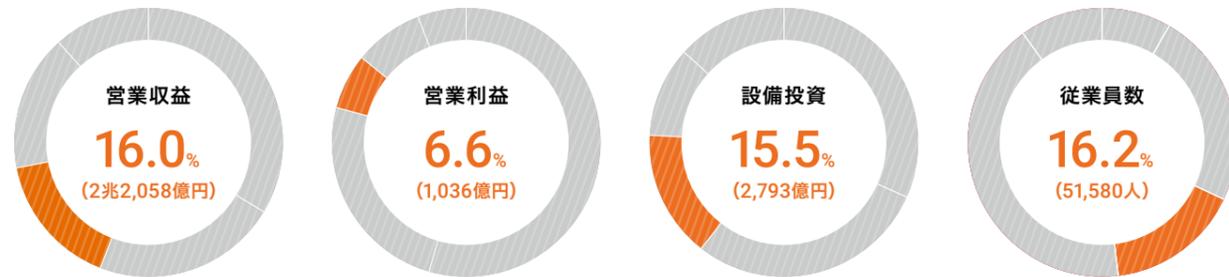
長距離・国際通信事業では、ネットワーク、セキュリティなどを組み合わせたICTソリューションの提供力を強化したほか、クラウドサービスやITアウトソーシングといった成長分野でのサービス提供力の強化を図りました。

競争優位性

- ▶ アプリケーションからITインフラまで含めたフルスタックでのソリューション提供
- ▶ グローバルカバレッジ
- ▶ 顧客との強力なエンゲージメント



2019年度セグメント別構成比



TOPICS

- ▶ クラウドサービスやデータセンターの需要に対応するため、サービス提供体制の拡充を進めました。欧州ではオランダアムステルダム1データセンター、ドイツフランクフルト4データセンターの提供を開始し、アジアではインドネシアジャカルタ3データセンターの建設に着手しました。
- ▶ 株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社みずほ銀行、みずほ情報総研株式会社と、音声認識処理技術、テキストマイニング、RPAを活用した市場商品の取引データ入力を自動化する音声入力システムを共同開発し、みずほ銀行の市場バンキング業務において利用を開始しました。

FOCUS

「児童生徒一人一台コンピュータ」の実現をサポートする「GIGAスクールパック」の提供

NTTコミュニケーションズとレノボ・ジャパン株式会社は、「児童生徒一人一台コンピュータ」の実現に向けた「GIGAスクール構想」^{※1}をサポートする小中学生の学習向けパソコンとクラウド型教育プラットフォーム「まなびポケット」等をパッケージ化した「GIGAスクールパック」を共同開発し、2020年3月より申込を開始しました。今後、全国の小中学校への「GIGAスクールパック」の提供を通じ、教育現場におけるデジタルトランスフォーメーションに取り組んでいきます。

※1：児童生徒一人一台端末、および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想

「ベルリン1データセンター」から「Microsoft Azure ExpressRoute」へ直接アクセスが可能に

NTT Ltd.のBerlin 1 Data Centerに、専用線でMicrosoft Azureに直接接続できる「Microsoft Azure ExpressRoute」の接続点が開設されました。通常のインターネットを介さず、Azureへ直接アクセスすることで、お客さまは安全性と信頼性を兼ね備えたハイブリッドクラウド環境を構築することができます。また、EMEA地域でデータセンターをご利用中のお客さまも、この接続点がご利用いただけます。

データ通信事業

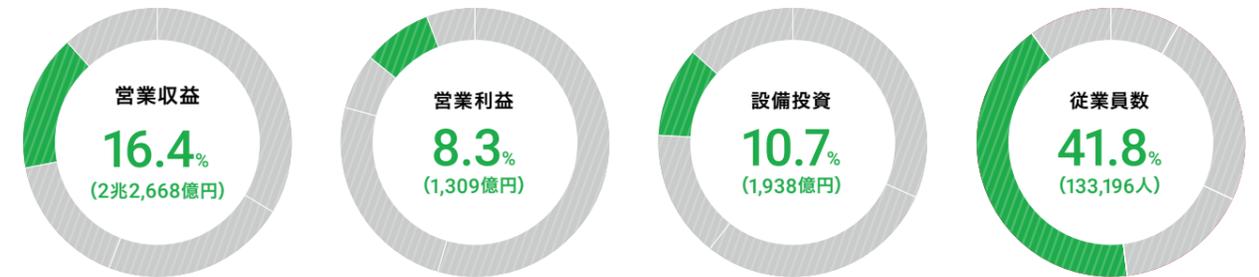
データ通信事業では、グローバルでのデジタルトランスフォーメーションなどの加速や、ニーズの多様化・高度化に対応するため、グローバル市場でビジネス拡大を図るとともに、市場の変化に対応したデジタル化の提案、システムインテグレーションなどの多様なITサービスの拡大と安定的な提供に取り組みました。

競争優位性

- ▶ 高度な技術開発力・プロジェクトマネジメント力
- ▶ 国内における高い市場シェアと安定した顧客基盤
- ▶ グローバルの開発拠点を活用した高いサービスデリバリー力



2019年度セグメント別構成比



TOPICS

- ▶ ガス・電力事業を行うスペインのNaturgy Energy Group, SAより、デジタル変革プロジェクトの戦略パートナーに選定されました。今後、ガスの導管などに関するシステム維持・運用、およびガス・電力の小売に係る各種業務を対象に、自社開発の先進的なプラットフォームを活用したBPO・ITOサービスを提供します。
- ▶ 北米での成長戦略のさらなる推進に向けて、アマゾン・ウェブ・サービス関連および米国連邦政府向けのヘルスケア分野のケイバリティを強化するため、米Flux7 Labs Inc.および米NET ESOLUTIONS CORPORATIONの2社を子会社化しました。

FOCUS

顔パスで買い物！レジ無しデジタル店舗出店サービス「Catch&Go」がさらに進化

NTTデータは、レジ無しデジタル店舗出店サービス「Catch&Go」を提供しています。NTTデータのデジタル実験店舗にこれまでのQRコード認証による入店に加えて、「顔認証入店」と「電子プライスカードを利用したダイナミックプライシング」を導入しました。顔パスで入店から決済までを可能にする新たな購買体験の提供や、店頭在庫と連携した電子プライスカードによる適正価格での販売、売上向上や廃棄ロス削減を検証します。



ASEAN全域の歴史的文化遺産をデジタルアーカイブ、世界公開へ

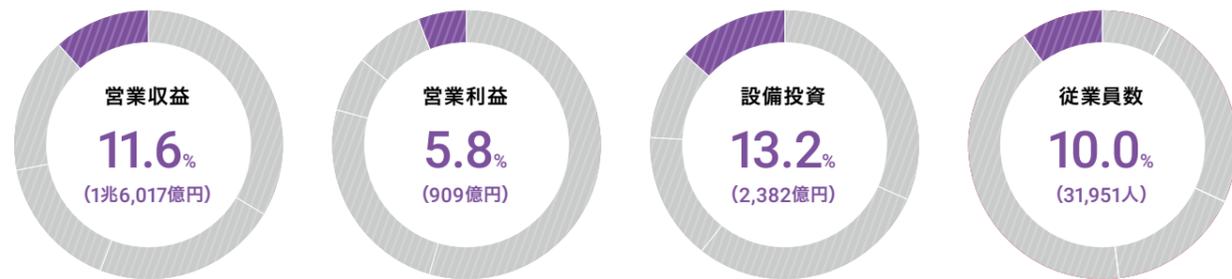
NTTデータは、ASEAN諸国の貴重な歴史的文化遺産をデジタル化するASEAN Cultural Heritage Digital Archive(ACHDA)プロジェクトにおいて、ASEAN地域全体の文化遺産を集約するデジタルアーカイブシステムを構築し、インドネシア、タイ、マレーシアの文化遺産約160点をデジタル化し公開しました。本アーカイブは、画像・音声・動画データに加え、立体造形物の3Dデータにも対応しています。本プロジェクトでは、将来的にASEAN全体の文化遺産のデジタル化と公開を進める予定です。

その他の事業

その他の事業では、主に不動産事業、金融事業、電力事業、システム開発事業に係るサービスを提供しました。



2019年度セグメント別構成比



主な取り組み内容

不動産事業

NTTグループの不動産事業を一元的に担うNTTアーバンソリューションズを中心に、主力となるオフィス・商業事業や住宅事業、グローバル事業を推進しました。国内では福岡市や仙台市などにおける街づくり開発に取り組みました。

電力事業

NTTグループにおけるスマートエネルギー事業を推進するNTTアノードエナジーを中心に、ICT技術・直流給電技術を最大限に融合・活用し、保有する太陽光発電所からグリーン電力を提供するなど、自然エネルギーの活用や限りあるエネルギーを効率的にムダなく使う社会、自然災害などのリスクに強い安心・安全な社会の実現に取り組みました。

金融事業

ICT機器の普及や、環境・教育・医療分野を中心とした社会的課題の解決に向け、リース・ファイナンスなどの金融サービスを展開しました。また、通信サービス料金などの請求・回収、クレジットカード決済サービスの提供を行いました。

システム開発事業

デジタルトランスフォーメーション推進に向けて、新規サービスのプラットフォームとなるITシステム群の開発・導入を開始しました。また都市の安全・地域の活性化など社会課題解決ソリューションの開発に取り組みました。

FOCUS

再生可能エネルギー・蓄電池関連事業における協業について

NTTアノードエナジーと三菱商事株式会社(以下、三菱商事)は、2019年12月に「産業DX推進」に関する業務提携の取り組みの一つとして、エネルギー分野における協業検討について合意しました。

具体的な取り組み

(1) 再生可能エネルギー発電事業

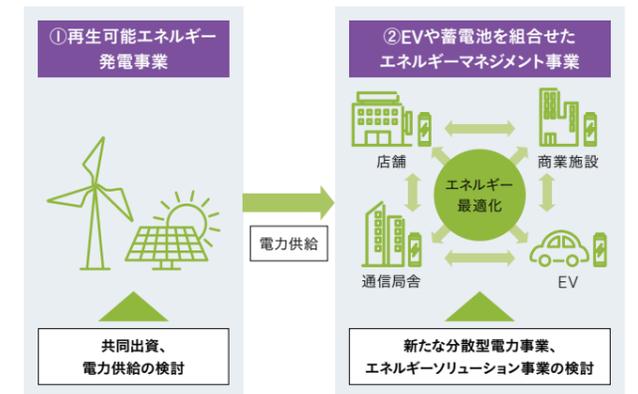
国内外再生可能エネルギー発電事業への共同出資参画、並びにNTTグループ各社への電力供給の可能性を検討します。

(2) EVや蓄電池を組合せたエネルギー管理事業

EV及び蓄電池を含むマイクログリッドプラットフォーム(以下「MGP」)*1の構築と、MGPを起点とした新たな分散型電力事業、並びにNTTアノードエナジーと三菱商事がもつ事業ネットワークを活用した新たなエネルギーソリューション事業の検討を行います。

この取り組みを通じて、NTTグループの有するICT技術・直流給電技術と三菱商事グループの電力事業に関する知見やノウハウを融合させ、環境負荷の低いクリーンなエネルギーの提供や、レジリエンス(強靭性)を高めるエネルギー管理サービスの提供をめざします。

*1 ICTを活用し地域内の蓄電池・EV・充電器などを有機的に連携させ最適なエネルギーソリューション等を顧客に提供する為の事業基盤



健康経営サポートサービスの提供を開始～ビッグデータ分析による健康経営支援～

NTTライフサイエンス株式会社は、企業の健康経営の推進や従業員の健康増進を支援するために新たに健康経営サポートサービス「Genovision(ゲノビジョン)」の提供を2020年4月より開始しました。

従業員の健康維持が企業にとっても重要な課題となっているなか、従業員の健康維持を経営的視点から捉え、戦略的に実践していく「健康経営」が求められています

こうしたニーズに応えるべく、Genovisionでは、従業員向け遺伝子検査「Genovision Dock」、従業員向け生活習慣改善サポート「Genovision Action」、企業向け健康経営コンサルティング「Genevision Insight」のサービスをワンパッケージで提供し、NTTグループがこれまで培ってきたICTやセキュリティ技術を基に、ヘルスケアデータや遺伝子検査によるゲノム情報等にビッグデータ解析を掛け合わせて、従業員一人ひとりに最適化された生活習慣改善のサポートに取り組んでいます。

このサービスは、NTTグループが運営する医療機関を通じて、国内の従業員向けに順次開始し、グループ各企業が契約している全国のさまざまな医療機関へも、順次拡大していく予定です。また、一般企業向けにもサービス提供を開始し、全国の企業および従業員に対して本サービスによる健康増進および健康経営推進の支援を行っていきます。



年間トピックス

2019年度

持株会社(グループ連携)

- 5月 光ベースの革新的なネットワーク構想「IOWN」を発表
- 6月 北海道大学、岩見沢市と産官学連携協定を締結
- 6月 超大容量1テラビット/秒光信号の長距離伝送の実証実験に成功
- 7月 千葉市とスマート&ナチュラルな未来のまちづくりに向けた包括連携協定を締結
- 7月 JTOWERと5G時代におけるシェアリングモデル推進に向けた資本・業務提携に合意
- 7月 東京メトロと「東京の魅力・活力の共創」などに関する協業に合意
- 7月 海外基礎研究拠点NTT Research, Inc.を北米シリコンバレーに発足
- 9月 米Major League Baseballとテクノロジーパートナーシップを締結
- 12月 マイクロソフトと新たなデジタルソリューションの実現に向けた戦略的提携に合意
- 12月 三菱商事と産業DX推進に関する業務提携に合意
- 12月 障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアティブ「The Valuable 500」に加盟

2020年度

- 1月 eスポーツ分野における新会社NTTe-Sportsを設立
- 1月 インテル、ソニーと、コミュニケーションの未来をめざす「IOWN Global Forum」を設立
- 2月 東京センチュリーとリース・ファイナンス事業の拡大に向けた資本・業務提携に合意
- 3月 トヨタ自動車とのスマートシティの実現をめざした資本・業務提携に合意
- 3月 IoT/AI時代における地図の高度化の推進に向け、ゼンリンとの資本・業務提携に合意
- 4月 コンタクトセンター事業におけるグループ統一ブランド「ONE CONTACT」を展開開始
- 5月 米オースティン市、カリフォルニア大学バークレー校とスマートシティ、スマートキャンパスで提携
- 5月 ITER国際核融合エネルギー機構と包括連携協定を締結
- 5月 環境エネルギービジョンを公表
- 6月 5G通信・光通信技術を活用した製品の共同開発及びグローバル展開に向け、NECと資本・業務提携に合意
- 6月 MTIと無人運航船実証実験に向けた共同研究契約を締結
- 7月 宇宙環境エネルギー研究所を設立
- 9月 KDDIと社会貢献連携協定を締結し、災害時の物資運搬などに関する相互協力を開始

移動通信事業

- 6月 新料金プラン「ギガホ」「ギガライト」を提供開始
- 8月 新たな融資サービスの提供をサポートする「ドコモレディングプラットフォーム」を提供開始
- 9月 5Gプレサービスを開始
- 10月 5G時代を見据え、「FOMA」および「iモード」のサービス終了(2026年3月予定)を発表
- 3月 5G商用サービスを提供開始
- 4月 法人向け健康経営支援サービス「dヘルスケア for Biz」を提供開始
- 7月 遠隔作業支援ソリューション「AceReal for docomo」を提供開始

地域通信事業

- 7月 NTT東日本、グループ初の「農業×ICT」専業会社NTTアグリテクノロジーを設立
- 10月 NTT西日本、大学・自治体向けの共同利用型クラウド「地域創生クラウド」を提供開始
- 10月 NTT西日本、福井市とICT活用による地域活性化連携協定を締結
- 2月 NTT東日本、東京大学と日本初の産学共同「ローカル5Gオープンラボ」を設立
- 3月 東京大学、理化学研究所、科学技術振興機構と超高精度光周波数の240kmファイバ伝送に成功
- 4月 NTT東日本、NTT西日本、通信速度最大約10Gbpsの「フレッツ 光クロス」を提供開始
- 7月 NTT東日本、持続可能な畜産・酪農業の実現と地域活性化をめざした新会社ビオストックを設立

長距離・国際通信事業

- 6月 NTTグローバルデータセンターが建設段階から投資する初の拠点インドネシア ジャカルタ 3 データセンターの建設を発表
- 6月 NTTコミュニケーションズが北米有数のマネージドサービス事業者Symmetry Holding Inc.買収を発表
- 7月 NTTコミュニケーションズのグローバル事業、Dimension Data、NTTセキュリティを統合し、NTT Ltd.として営業開始
- 12月 関西最大級の大阪第7データセンターのサービス提供開始
- 5月 遠隔教育を支援するクラウドプラットフォーム「まなびポケット」の無償提供を開始
- 8月 オンラインワークスペース「NeWork」を提供開始

データ通信事業

- 4月 企業向けクラウドセキュリティ管理サービス「BXO Managed Workspace Security」を提供開始
- 9月 レジ無しデジタル店舗出店サービス「Catch&Go」を提供開始
- 2月 ASEAN全域の歴史的な文化遺産を集約するデジタルアーカイブシステムを構築
- 4月 先端技術領域の強化をめざし、デジタル技術のグローバル集約拠点を7拠点に拡大
- 4月 トヨタコネクティッドとのモビリティサービス事業領域における業務提携を開始

その他事業

- 7月 ビッグデータ解析により健康経営を支援するNTTライフサイエンスを設立
- 7月 街づくり事業推進会社NTTアーバンソリューションズが事業開始
- 9月 エネルギー事業推進会社NTTアノードエナジーが事業開始
- 11月 NTTアノードエナジーが中期ビジョンを公表
- 3月 NTT都市開発、小学校跡地を活用した「The Hotel Seiryu Kyoto Kiyomizu」を開業
- 6月 NTTグループグリーンボンドを発行
- 9月 NTTアノードエナジー、フォレストエナジーとのバイオマス発電事業における資本・業務提携発表